



2019年3月期 連結損益計算書 (億円)			
	2018年3月期	2019年3月期	増減額
売上高	5,961	6,033	+72
営業利益	193	172	▲21
営業外損益	+16	+17	+1
経常利益	209	190	▲19
特別損益	▲19	▲37	▲18
税引前利益	190	152	▲37
純利益※	133	107	▲26

※親会社株主に帰属する当期純利益

内訳	【営業外損益】
	➢ 金融収支※: +2億円、持分法投資損益: +9億円
	【特別損益】
	➢ 減損損失: △16億円 災害による損失: △5億円
	<small>※金融収支=受取利息+受取配当金-支払利息</small>

配当	普通配当	40円	連結配当性向	25.2%
----	------	-----	--------	-------

Copyright © Meiji Milk Snow Brand Co. Ltd. All Rights Reserved.

【連結損益計算書】

2019年3月期における当社グループの売上高は6,033億円 前期比72億円の増収、営業利益は172億円 前期比21億円の減益です。

経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益におきましても減益となりました。

今期の1株当たり配当は、40円といたします。配当性向は、25.2%となります。

2019年3月期 | 連結営業利益増減要因の内訳

2018年3月期	2019年3月	増減額	主なセグメント別の増減額		
193億円	172億円	▲21億円	乳製品 ▲3億円	飲料・デザート類 ▲15億円	飼料・種苗 ▲1億円
<b>増益要因 合計</b>		<b>+46</b>	<b>+43</b>	<b>0</b>	<b>+3</b>
販売単価差		+35	+32	0	+3
製品構成差		+8	+3	+5	0
宣伝促進費の減少		+3	+8	△5	0
<b>減益要因 合計</b>		<b>▲67</b>	<b>▲46</b>	<b>▲15</b>	<b>▲4</b>
オペレーションコストの増加		▲20	▲7	▲13	0
販売物量減少による利益減		▲17	▲22	+7	▲3
固定経費の増加		▲16	▲7	▲8	0
原材料コストの増加		▲10	▲8	0	▲1
その他		▲4	▲2	▲1	0

(補足) 主な要因を記載しています。内訳の詳細は、決算短信の補足情報をご参照ください。

雪印メグミルク Copyright © Meiji Milk Snow Brand Co.Ltd. All Rights Reserved. 3

2019年3月期 | 連結貸借対照表

	2018年3月期	2019年3月期	増減額		2018年3月期	2019年3月期	増減額
流動資産	1,421	1,488	+67	流動負債	1,406	1,179	▲227
固定資産	2,091	2,105	+14	固定負債	532	727	195
<b>総資産 3,594億円 (前期比 +82億円)</b>				<b>純資産</b>	<b>1,573</b>	<b>1,687</b>	<b>+114</b>

**増減要因**

**【流動資産】**

- 売上債権: +54億円
- たな卸資産: +17億円

**【固定資産】**

- 投資有価証券: +61億円

**【流動負債】**

- 短期借入金: ▲218億円

**【固定負債】**

- 社債: +100億円
- 長期借入金: +87億円

**【純資産】**

- 株主資本等: +112億円

自己資本比率 46.3%

雪印メグミルク Copyright © Meiji Milk Snow Brand Co.Ltd. All Rights Reserved. 4

【連結営業利益の増減要因の内訳（実績）】

乳製品セグメントでは、価格改定・容量変更の実施に伴う販売単価差による増益要因があったものの、乳価改定の影響や原材料コスト、販売物量減少による利益減から減益となりました。

飲料・デザート類セグメントでは、機能性ヨーグルトの販売が拡大したものの、オペレーションコストや減価償却などの固定経費が増加したことなどから減益となりました。

結果として増減益ネットでは前期比21億円の減益となりました。

【連結貸借対照表】

資産合計は3,594億円 前期比82億円の増加です。流動資産の増加は、売上債権が54億円、たな卸資産が17億円増加したことが主な要因です。固定資産の増加は、投資有価証券が61億円増加したことが主な要因です。

負債合計は、社債を100億円発行したものの、借入金の返済（ネットで131億円）などにより減少しました。

純資産合計は1,687億円 前期末比114億円の増加です。株主資本等が112億円増加しました。利益剰余金が82億円、その他有価証券評価差額金が41億円増加したことが主な要因です。

連結経営数値ですが、連結自己資本比率は46.3%、前期末比で2.2ポイント改善しております。

2019年3月期 | 連結キャッシュ・フロー計算書

主な内訳		(前期)
営業CF +219億円	税金等調整前当期純利益	152億円
	減価償却費	159億円
	減損損失	16億円
	売上債権の増加額	▲55億円
	たな卸資産の増加額	▲21億円
		+228億円
投資CF ▲142億円	有形及び無形固定資産の取得による支出	▲158億円
		▲117億円
財務CF ▲73億円	社債	99億円
	借入金増減	▲131億円
	配当金の支払額	▲27億円
		▲129億円
現預金増減額 +4億円		有利子負債
		717億円

雪印メグミルク Copyright © Meigimilk Snow Brand Co.Ltd. All Rights Reserved. 5

【連結キャッシュ・フロー計算書】

キャッシュ・フローについては、営業活動によるキャッシュ・イン219億円と、投資活動によるキャッシュ・アウト（▲）142億円、さらに財務活動によるキャッシュ・アウト（▲）73億円の結果、現預金残高4億円の増加となりました。

2020年3月期 | 連結損益計算書

	業績予想		増減額
	2019年3月期	2020年3月期	
売上高	6,033	6,150	+116
営業利益	172	180	+7
経常利益	190	195	+4
親会社株主に帰属する当期純利益	107	120	+12
配当	普通配当 40円	連結配当性向 22.6%	

雪印メグミルク Copyright © Meigimilk Snow Brand Co.Ltd. All Rights Reserved. 6

【連結損益計算書（業績予想）】

連結業績予想についてです。

売上高は6,150億円 前期比116億円の増収、営業利益は180億円 前期比7億円の増益を見込んでいます。

親会社株主に帰属する当期純利益は、12億円の増益、1株当たり配当は、40円を予定しております。配当性向は、22.6%となります。

2020年3月期 | 連結営業利益増減要因の内訳 (業績予想)

2019年3月期	2020年3月	増減額	主なセグメント別の増減額		
172億円	180億円	+7億円	乳製品	飲料・デザート類	飼料・種苗
			+3億円	+7億円	▲2億円
<b>増益要因 合計</b>		<b>+99</b>	35	58	+4
販売単価差		+61	+4	+57	0
製品構成差		+22	+9	+13	0
販売物量増加による利益増		+16	+22	▲12	+4
<b>減益要因 合計</b>		<b>▲92</b>	▲32	▲51	▲6
原材料コストの増加		▲38	▲7	▲24	▲6
固定経費の増加		▲29	▲14	▲13	0
オペレーションコストの増加		▲10	▲1	▲9	0
宣伝促進費の増加		▲10	▲6	▲4	0
その他		▲5	▲4	▲1	0

(補足) 主な要因を記載しています。内訳の詳細は、決算短信の補足情報をご参照ください。

2020年3月期計画前掲為替レート：1米ドル=111円  
為替換算率（営業利益ベース）：1円高 +1.5億円

雪印メグミルク Copyright © Meiji Milk Snow Brand Co.Ltd. All Rights Reserved. 7

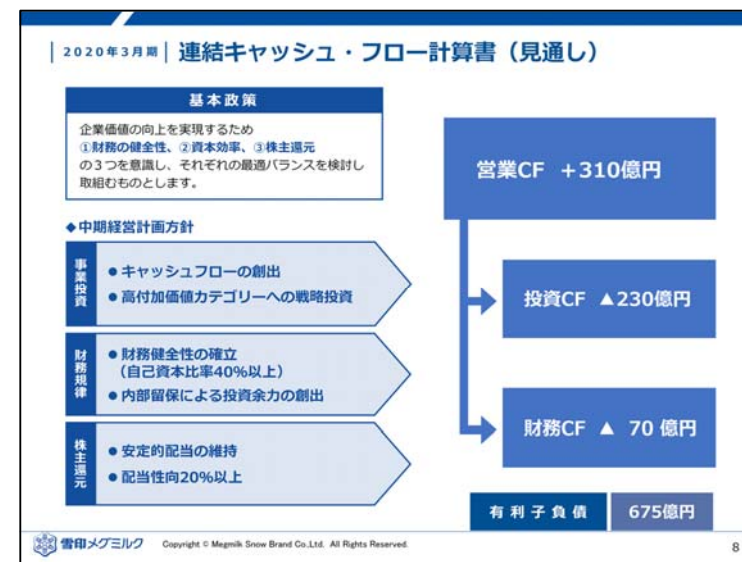
【連結営業利益の増減要因の内訳 (業績予想)】

業績予想の営業利益の増減要因についてです。

乳製品セグメントでは、3億円の増益を見込みました。労務費を含む固定経費の増加や原材料コストが増加しますが、主力商品の販売拡大による、利益増に取り組みます。

飲料・デザート類セグメントでは、7億円の増益を見込みました。原材料コストや、労務費、そのほかのコストの増加が見込まれる中、コスト吸収策のひとつとして、市乳商品の価格改定を実施させていただきました。販売単価差やプロダクトミックスの改善などにより利益増に取り組みます。

飼料・種苗セグメント、その他セグメントを含め、結果として、増減益ネットでは前期比7億円の増益を見込みました。



【連結キャッシュ・フロー計算書 (見通し)】

連結キャッシュフローの見通しについてです。

今期は、営業CF 310億円を財源として、投資CFに230億円、財務CFに70億円を配分予定です。

財務規律の面では、財務健全性の確立と内部留保による投資余力の創出をすすめてまいります。

株主還元としては、安定的配当の維持、配当性向20%以上を踏まえ、配当金の支払いを行う予定です。

結果として当期は、リース債務を含みます有利子負債残高は675億円を予定しています。

長期ビジョンで定めたキャッシュフロー配分方針に沿って、「財務の健全性」、「資本効率」、および「株主還元」のバランスをとり、企業価値向上を目指します。

未来は、ミルクの中にある。



本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、本資料の予想数値と異なる場合があります。